

お盆も過ぎ、暑さがじわじわと体にこたえます。熱中症も増えています。皆様お元気でしょうか。

私も院長自ら、職員の鏡にはなれませんが、ひとコマとして当直を行っています。先日のあの当直の一夜について書いてみたいと思います。夕方6時過ぎに重症のくも膜下出血の患者さんが救急来院されました。すぐに緊急検査の後、脳動脈瘤のクリッピング手術が行われ、患者さんはその後、リハビリを行なっています。8時過ぎには、急性心筋梗塞の女性が救急車で来院され、緊急冠動脈造影の後、冠動脈形成術、ステント留置術が行われました。その直後には交通事故により、脳挫傷、肺挫傷、骨盤骨折、四肢の骨折で重傷多発外傷の患者さんが搬入され、直ちに気管内挿管がなされ、骨盤骨折に対して、内腸骨動脈塞栓術が行われました。引き続き整形外科の先生により骨接合術が行われました。

その重症救急の間にも、嘔吐下痢の激しい患者さん、熱中症の患者さん、ガラスで前腕切創の患者さん、5センチの大きな後頭部挫創の患者さん等多数来院され、休み無しです。それでも救急の重症患者さんは救命のため一刻を争っていますので、一般外来の患者さんは結構お待たせしたと思います。この場をお借りしてお詫び申し上げます。しかし一般外来で独歩で来院される患者さんの中にも重症患者さんで一刻を争う患者さんが含まれていますから、医師は五感を働かせて診療に当たらなければいけません。

もしこういう大変な日ばかり続くと我々も心も体も持たず、堪りませんが、実際のところ時々こういう日はあります。(その翌日はドロドロになって寝込んでますが。)それでも患者さんが来られれば全力で診療にあたりたいと思います。私も50歳に近づいてきましたがまだまだ元気ですから当直を続けたいと考えています。

話は変わりますが、「PET」による健診」も成果が上がってきており、これまでの健診(人間ドック)では見つからないような微小病変やまれな腫瘍が発見されるケースが増えてきました。もちろん極早期に発見されたものですから、その後の治療成績は良好です。ご質問のある方は健診部にご連絡ください。

今年こそ行こうと考えていた芦屋の花火も中止となり、小倉の花火を見ました。花火はバンバン言ってるうるさい音が有りながら空を見ていると、広いまっくろな空に何十色という火の粒が飛び散り、宇宙に向かって爆発🌈しているように見えます。

第18章。

